

いいたて学

「いいたて学」は、義務教育学校ならではの独自教科です。地域と連携した探究的な学習を通して“いいたて”を学んでいます。1年生から9年生が体系的なカリキュラムの中で、飯館村の自然・文化・歴史・伝統を学び、発信することによって、飯館村の伝統を継承し、未来の飯館村を支える人材を育成することを目指しています。

いいたてっ子発表会「赤蜻祭」では、後期課程が学びの成果を学年ごとに発表しました。前期課程の発表の中にも、「いいたて学」の学びが散りばめられています。



後期課程による「小宮の田植え踊り」。保存会の協力を得ながら、先輩から後輩へと村の伝統が受け継がれています。

後期課程は、赤蜻祭や学校ホームページなどで「いいたて学」での学びを発信しています。写真は7年生の発表で『飯館村の過去』。



特設ダンス部



全校合唱「ふるさと」



いいたてっ子発表会「赤蜻祭」  
せき しょう さい



10月29日に開催された、いいたてっ子発表会「赤蜻祭」。1年生から9年生が力を結集し、「届けよう、ほくらの想いを…」をスローガンに、「いいたて学」で学んだことを生かしながら、魅力いっぱいのステージ発表を行いました。



1・2年生の劇『ももたろう・飯館Ver.(バージョン)』。桃太郎がきびだんごの代わりに「凍み餅」を配り、個性豊かな家来を味方に鬼退治！楽しい演技で観客を魅了しました。



村民に太鼓の手ほどきを受けながら、進化を続ける学園オリジナルの『いいたて元気太鼓』。前期課程の児童が気合いを込め息を合わせて見事な演奏を披露しました。



5・6年生はオリジナルの歴史劇『義経』を熱演。衣装の製作から照明まで、子どもたちが取り組みました。本番では見応えある演技や立ち回りで大きな拍手を浴びました。



3・4年生の劇『どろぼう学校』。盗んだものは、授業で学んできた「ごんぼっぱ」や先生方の持ち物など大事なもののばかり。ユーモアたっぷりの演技で会場を沸かせました。